

決議案第1号

ロシアによるウクライナ侵略に抗議する決議

ロシアによるウクライナ侵略に抗議する決議を別紙のとおり提出する。

令和4年3月10日提出

| | | |
|-----|---------|----------|
| 提出者 | 新城市議会議員 | 丸山隆弘 |
| | 〃 | 鈴木達雄 |
| | 〃 | 浅尾洋平 |
| | 〃 | 鈴木長良 |
| | 〃 | 佐宗龍俊 |
| | 〃 | 齊藤竜也 |
| 賛成者 | 新城市議会議員 | 中西宏彰 |
| | 〃 | 滝川健司 |
| | 〃 | 山口洋一 |
| | 〃 | 村田康助 |
| | 〃 | 山田辰也 |
| | 〃 | 小野田直美 |
| | 〃 | 柴田賢治郎 |
| | 〃 | 竹下修平 |
| | 〃 | 小林秀徳 |
| | 〃 | 今泉吉孝 |
| | 〃 | カークランド陽子 |

理由

この案を提出するのは、ロシアによるウクライナ侵略に抗議し、ロシア政府に対して核による威嚇や武力行使の全面停止とロシア軍のウクライナ領土からの即時撤退、国際法の遵守と平和的解決を強く求める必要があるからである。

ロシアによるウクライナ侵略に抗議する決議

ロシアは2月24日、国際社会の懸命な外交努力や度重なる警告を無視し、ウクライナへの軍事侵略を開始した。

ロシアのウクライナ侵略は、民間人を含め多数の犠牲者を出し続けており、国際社会の平和と安全を破壊する暴挙であり、世界各地で非難の声が上がっている。

このようなロシアの核による威嚇やウクライナの主権と領土を侵略する武力行使は、国連憲章・国際法違反にあたり、断じて容認できない。

新城市平和都市宣言（平成27年10月1日制定）は「新城市は、二度と戦争を繰り返さないよう、核兵器の廃絶と、戦争のない安心して暮らせる社会の実現に向けて努力していくことを決意」する立場を明らかにしている。

よって新城市議会は、ロシアによるウクライナ侵略に抗議し、ロシア政府に対して核による威嚇や武力行使の全面停止とロシア軍のウクライナ領土からの即時撤退、国際法の遵守と平和的解決を強く求める。

以上、決議する。

新 城 市 議 会